

だが天塩防災事業で、まだ道路整備箇所の地固めをしている状況です。あと数年はかかると思います。

Q 問寒別は名寄方面へ行くことが多い。こちらの道路はいつ開通になるのか。

A トンネルの開通が見えてきたので、ある程度は目途はたったと聞いていますが、国の予算配分の関係もあり、現時点では名寄できないようです。

◆問寒別地区における地域交通車両の試験運行について

10月2日から問寒別地区で問寒別診療所や郵便局などへの送迎する地域交通車両の運行について説明しました。

Q 地域おこし協力隊員が運転をするということだが、資格とかは持っているのか。

A あくまで試験運行として、料金を徴収せず、資格

を持たずとも運行出来る範囲の中で行っています。

Q 地域交通車両と患者輸送車の関係はどうなのか。

A 地域交通車両の試験運行は、問寒別地区内で行うもので、患者輸送バスの運行とは別に行います。来年3月まで試験運行を行う中で、その後の運用の形を検討するため、ご意見をいただきながら試験運行を進めることとなります。



◆町政全般について

Q 9月に大雨警報、洪水警報、土砂災害危険情報が、テレビで何回も出た。幌延

の名もあつたが、町からは何の周知もなかった。自治体の指示に従って避難する準備をするようにテレビでは言っていたが、町はどういう対策をとったのか。

A あの時、幌延町に土砂災害警戒情報「レベル4」というのが気象庁から出され、すぐ職員を集めて災害対策本部を立ち上げました。気象庁に問い合わせたところ、警報情報が出ているのは上幌延地区と開進地区だけということでしたので、今回はその地区を対象に生涯学習センターに避難所を設置し、避難住民情報というものを発令し、対象である上幌延と開進地区のみに告知端末でお知らせしました。地区が限定されていたので、対象地区以外には告知端末でお知らせしなかったということですが。

Q 他の人は何も分からない。テレビで一方的に危ないから逃げる準備をしろと言われても、どうしたらいいか分からない。ああいう

時は、全町に1回、状況を流してほしい。

A 今後の告知の仕方を工夫します。

Q バイオマス構想は、その後どうなっているのか。

A 昨年度の調査で、幌延町が整備を目指す小規模循環型プラントに関する、ある程度のデータは収集できたので、今年度は酪農家ヒアリングを実施する予定でしたが、コロナの影響があり調査実施できていない状況です。今後、状況を踏まえつつ、説明の機会を設けたいと考えています。

Q 広報を見ると、ふるさと納税関連のお金が幌延にも1千5百万円くらい入ってきているようだが、全道の市町村で幌延はどのくらいにランクされているのか。

A 下位にランキングされており、魅力ある返礼品設定がまだまだできていないと感じています。海産物や

牛肉などを返礼品とする自治体では、寄付金を大きく伸ばしているようです。今後の対応としては、ふるさと納税を扱うインターネットサイト掲載を1カ所から2カ所へ増やすことにより、多くの方へ幌延町の取り組みを周知することを予定しています。

Q 告知端末を流す回数、内容などについて整理すべきではないか。毎日、朝昼晩流れているものや、6時の定時放送が終わってから6時半に流れるといったことも、最近あった。定時以外は、緊急のものが流れるという判断で町民はいる。どこかで線を引いてもらいたい。朝昼晩、同じようなものが本当に必要なのか。

A 内部でしっかり検討します。

Q 道の駅の話は進んでいるのか。

A 創生会議などにおいて議論していますが、今年度